### 12. 大腸がん患者に対する腹腔鏡下手術の実施率

# 算式

- 【分子】 分母対象例のうち、当該入院期間中に「K719-3腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術」又は「K740-2腹腔鏡下直腸切除・切断術」を施行した患者数
- 【分母】 測定期間内の退院患者のうち「大腸がん」を主病名として入院し、「K7193結腸切除術 全切除、亜切除術又は悪性腫瘍手術」、「K719-3腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術」、「K740直腸切除・切断術」 又は「K740-2腹腔鏡下直腸切除・切断術」を施行した退院患者数

## 定義

「大腸がん」を主病名として入院し、悪性腫瘍手術を実施した患者のうち腹腔鏡下 での手術実施割合

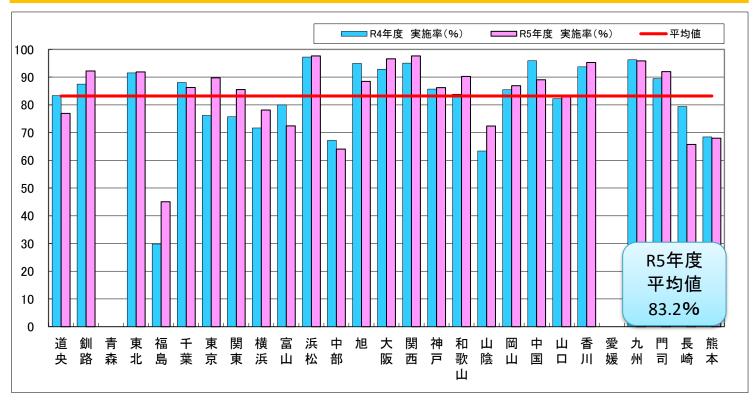
#### 指標の解説

#### DPCデータより抽出

腹腔鏡下手術の有用性としては、開腹手術と比較し、入院期間の短縮、腸管運動の早期回復、術後の疼痛軽減等が挙げられており、当該手術の実施率により患者の負担軽減、社会復帰への貢献度を評価する。

#### 12. 大腸がん患者に対する腹腔鏡下手術の実施率





			R4年度				R5年度			
No	施	設名 <sup>※</sup>	分母	分子	実施率 (%)	(再掲)ロボット支援手術によるもの	分母	分子	実施率 (%)	(再掲)ロボット支援手術によるもの
1	道	央	18	15	83.3	-	13	10	76.9	_
2	釧	路	144	126	87.5	_	103	95	92.2	9
3	青	森	46	0	0.0	_	44	0	0.0	_
4	東	北	71	65	91.5	_	74	68	91.9	_
5	福	島	104	31	29.8	_	111	50	45.0	_
6	千	葉	134	118	88.1	20	131	113	86.3	30
7	東	京	42	32	76.2	_	39	35	89.7	_
8	関	東	70	53	75.7	_	83	71	85.5	_
9	横	浜	106	76	71.7	23	96	75	78.1	26
10	富	山	45	36	80.0	_	29	21	72.4	_
11	浜	松	36	35	97.2	_	43	42	97.7	_
12	中	部	67	45	67.2	_	64	41	64.1	_
13		旭	59	56	94.9	_	52	46	88.5	_
14	大	阪	196	182	92.9	57	148	143	96.6	111
15	関	西	242	230	95.0	81	213	208	97.7	120
16	神	戸	28	24	85.7	_	29	25	86.2	_
17	和	歌山	68	57	83.8	_	72	65	90.3	_
18	山	陰	60	38	63.3	_	47	34	72.3	_
19	岡	山	62	53	85.5	_	61	53	86.9	_
20	中	国	73	70	95.9	_	73	65	89.0	12
21	山	П	45	37	82.2	_	48	40	83.3	_
22	香	Ш	127	119	93.7	19	106	101	95.3	42
23	愛	媛	0	0	0.0	_	2	0	0.0	_
24	九	州	80	77	96.3	_	72	69	95.8	_
25	門	司	19	17	89.5	_	25	23	92.0	_
26	長	崎	34	27	79.4	-	35	23	65.7	_
27	熊	本	57	39	68.4	_	50	34	68.0	_
合		計	2,033	1,658	81.6	_	1,863	1,550	83.2	_
		末以上	125	109	86.6	_	135	124	92.0	_
		末以上	87	77	88.5	_	79	69	87.2	_
		末以上	63	47	73.6	_	56	42	74.4	_
		末未満	施設について	25	66.3	-	28	14	51.9	_

※対象症例がない施設については除外